

1. 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む2016年から2030年までの国際目標。

2. 特徴

- 先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標を設定。その目標の下に、更に細分化された169のターゲットがある。
- 「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し(=人間の安全保障の理念を反映)、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組む。
- 全ての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者等)の役割を重視。

3. 17の目標

目標1(貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2(飢餓)	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3(保健)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4(教育)	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5(ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6(水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7(エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8(経済成長と雇用)	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9(インフラ、産業化、イノベーション)	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10(不平等)	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11(持続可能な都市)	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12(持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13(気候変動)	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14(海洋資源)	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15(陸上資源)	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16(平和)	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17(実施手段)	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

4. 国における取組み

日 程	内 容
2016年5月	総理を本部長、全閣僚を構成員とする SDGs 推進本部を設置。第1回 SDGs 推進本部会合において「SDGs 実施指針」の策定に向けた総理指示。
12月	第2回 SDGs 推進本部会合を開催し、 <u>SDGs 実施指針を決定</u> 。
2017年6月	第3回 SDGs 推進本部会合を開催。

5. SDGs 実施指針

2016年12月に決定した SDGs 実施指針では、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」ことをビジョンとし、下記のとおり 8つの優先課題を掲げている。

また、この指針では「各地方自治体に、各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては SDGs の要素を最大限反映することを奨励」している。

《8つの優先課題》

	優先課題	具体的施策の分野
1	あらゆる人々の活躍の推進	一億総活躍社会の実現、女性活躍の推進など
2	健康・長寿の達成	薬剤耐性対策、途上国の感染症対策や保健システム強化など
3	成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	有望市場の創出、農山漁村の振興など
4	持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	国土強靱化の推進・防災、水資源開発・水循環の取組など
5	省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会	省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進、気候変動対策など
6	生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	環境汚染への対応、生物多様性の保全など
7	平和と安全・安心社会の実現	組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進、平和構築・復興支援など
8	SDGs 実施推進の体制と手段	マルチステークホルダーパートナーシップ、国際協力における SDGs の主流化など